

消 防 費

・消防費

常 備 消 防 費

政 策 総 務 課

(1) 乙訓消防組合

乙訓消防組合に対し、分担金を負担した。

318,648,000 円

非 常 備 消 防 費

政 策 総 務 課

(1) 消防団は郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、団長以下一致団結し、防火防災活動を行った。

事 業 名	実施年月日	参加者数	場 所
消防団ポンプ車操法訓練	H28.5.11～7.31	延べ564人	大山崎消防署駐車場及び大山崎小学校グラウンド
初級団員教養訓練	H28.5.15	38 人	大山崎消防署駐車場
水防研修	H28.6.5	41人	大山崎消防署名神高架下
消防団ポンプ車操法訓練町長・議長激励	H28.7.3	36 人	大山崎小学校グラウンド
乙訓支部消防操法練成会	H28. 7.24	29 人	向日市立第6向陽小学校
京都府消防操法大会	H28.7.31	36 人	京都府立丹波運動自然公園
ポンプ運用強化訓練	H28.8.7、9.4、10.2 3日間	延べ30人	大山崎消防署駐車場
幹部教養訓練	H28.9.25	33 人	大山崎消防署駐車場
活性化事業	H28.9.25	27 人	ホテルエミナース京都
天王山ゆひまつり 消防団コーナー	H28.11.6	9 人	大山崎消防署駐車場
秋の火災予防運動に伴う広報パトロール	H28.11.9～14 6日間	延べ30人	大山崎町管内
年末特別警戒	H28.12.25～31 7日間	延べ151人	大山崎町管内(各分団詰所)
大山崎町消防出初式	H29.1.8	48 人	大山崎町体育館
大山崎町防災訓練	H29.2.26	30 人	大山崎町管内及び大山崎町体育館
春の火災予防運動に伴う広報パトロール	H29.3.1～6 6日間	延べ34人	大山崎町管内
乙訓二市一町総合消防訓練	H29.3.5	32 人	日立マクセル株式会社京都本社

(2) 消防団は火災予防にも積極的に取り組むとともに、府立消防学校に団員を派遣し、各種の教育を実施した。

また、研修のため管外へも団員を派遣し、情報収集や見聞を広め、団員の資質向上に努めた。

○京都府立消防学校派遣研修

消防団専科教育操法指導科	1日	1人	京都府立消防学校
消防団専科教育警防科	1日	2人	京都府立消防学校
消防団指揮幹部科分団指揮課程	1日	3人	京都府立消防学校

○全国消防操法大会視察研修 2日 12人 長野県

○京都府消防協会乙訓支部管外視察研修 2日 3人 静岡県

(3) その他

消防団は、分団ごとに毎月自主訓練を行っているほか、消防車両を常時出動可能な状態にしておくため機関点検等を行うなど、万一の災害に備えている。

消 防 施 設 費

政 策 総 務 課

(1) 防火水槽補給管布設替工事		594,000 円
(2) 水道事業特別会計負担金		3,480,000 円
消火栓等維持費	公設水利の維持管理費用	
	消火栓 236箇所	} 290箇所×1,000円×12ヶ月
	防火水そう 54箇所	

水 防 費

政 策 総 務 課

(1) 水防出動に備え、水防活動に必要な資器材を購入した。

水防活動用資材(単管、クランプ、垂木、訓練用砂他) 173,522 円

(2) 桂川・小畑川水防事務組合

京都市・長岡京市・大山崎町で構成する水防事務組合の負担金 280,000 円

水防事務組合水防訓練

訓練日:H28.5.8

場 所:淀川右岸淀大橋下流河川敷

〈資料1〉 火災概要(過去3年間)

区分		年別	平成26年	平成27年	平成28年	昨年との比較増(減▲)
火災件数	計		4	6	4	▲2
	建物		2	3	1	▲2
	車両		1	1	1	0
	林野		1	0	0	0
	その他		0	2	2	0
建物焼損床面積(㎡)			0	0	0	0
建物焼損表面積(㎡)			1	3	0	▲3
林野焼損面積(a)			2	0	0	0
焼損棟数	全焼		0	0	0	0
	半焼		0	0	0	0
	部分焼		0	1	0	▲1
	ぼや		2	2	1	▲1
り災人員			4	4	0	▲4
り災世帯	全損		0	0	0	0
	半損		0	0	0	0
	小損		1	1	0	▲1

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

区分		年別	平成26年	平成27年	平成28年	昨年との比較増(減▲)
死傷者	死者		0	0	0	0
	負傷者		0	0	1	1
損害額(千円)			39	1,756	126	▲1,630
主な火災原因	たばこ		0	0	1	1
	こんろ		0	1	1	0
	火入れ		0	0	0	0
	たき火		1	0	0	0
	火あそび		1	1	0	▲1
	こたつ		0	0	0	0
	電気機器		0	1	0	▲1
	配線器具		0	0	0	0
	放火・放火の疑い		1	0	0	0
	その他		1	3	2	▲1
	不明		0	0	0	0
	計		4	6	4	▲2

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

〈資料2〉 救急活動概要(過去3年間)

区分		年別	平成26年	平成27年	平成28年	昨年との比較増(減▲)
出 動 件 数			1,044	1,096	1,104	8
取 扱 件 数			972	1,025	1,040	15
事 故 別	交 通 事 故		133	129	125	▲4
	急 病		605	657	671	14
	一 般		176	175	182	7
	そ の 他		130	135	126	▲9
救 護 人 員			984	1,039	1,054	15

事故別の出動状況をみると急病が671件と最も多く、全体の約 60%を占めた。

(乙訓消防組合統計より)

大山崎消防署が出動した件数で、町外への出動を含む。

〈資料3〉 消防団の出動状況(平成28年度中)

区分		種別	計	災 害 出 動			演 習 ・ 訓 練	広 報 活 動	研 修 ・ 会 議	機 関 点 検	特 別 警 戒	そ の 他	
				火 災	う ち 林 野	捜 索 活 動							風 水 害 等 の 災 害
消 防 団	出 動 回 数		145	0	0	0	0	31	13	26	36	9	30
	出 動 延 人 員		1657	0	0	0	0	773	73	125	252	191	243

消防団員は、火災、その他の災害による被害を最小限にとどめるため、専門知識の習得、技術の練磨を重ねた。

1. 災害警戒本部設置状況

各種気象警報等の発表に伴い、災害警戒本部を計10回設置した。

(1) 大雨警報発表によるもの(以下のとおり、9回設置)

設置日	事象	備考
平成28年6月23日 (木)	6月23日午前3時22分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 6月23日午前11時28分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	
平成28年6月24日 (金)	6月24日午後10時7分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 6月25日午前4時6分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	
平成28年8月16日 (火)	8月16日午後5時34分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 8月16日午後11時14分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	
平成28年8月29日 (月)	8月29日午後3時34分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 8月29日午後8時44分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	
平成28年9月6日 (火)	9月6日午後5時44分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 9月6日午後6時38分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	
平成28年9月18日 (日)	9月18日午後4時29分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 9月18日午後11時35分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	
平成28年9月20日 (火)	9月20日午前6時20分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 9月20日午後7時20分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	午前11時10分 天王山山麓の1,200世帯3,000名を対象に避難準備情報発令 ふるさとセンター、第二大山崎小学校に避難所を開設 ふるさとセンターには、最大で3世帯5名が避難 第二大山崎小学校には、避難者なし 午後7時00分 天王山山麓に発令した避難準備情報を解除
平成28年9月28日 (水)	9月28日午後5時26分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 9月28日午後6時25分 土砂災害警戒情報発表 9月29日午前6時40分 土砂災害警戒情報解除 9月29日午前9時36分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	9月28日 天王山山麓の1,200世帯3,000名を対象に避難勧告発令 ふるさとセンター、第二大山崎小学校に避難所を開設 ふるさとセンターには、最大で10世帯14名が避難 第二大山崎小学校には、避難者なし 9月29日 天王山山麓に発令した避難勧告を解除 午前6時50分
平成28年10月9日 (日)	10月9日午前5時16分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 10月9日午前6時37分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	

(2) 大雪警報発表によるもの:平成29年1月15日(日)に1回設置

2. 防災パトロール

大山崎町地域防災計画に基づき、梅雨期とそれに続く台風襲来期を迎えるにあたり、防災関係機関の協力を得て、災害時に危険が予想される箇所の総点検を実施し、防災上必要な対策を検討し、万全を期すことを目的に実施した。

○実施日：平成28年5月26日（木） ○参加者数：28名

○パトロール箇所：松田橋、大山崎排水ポンプ場

3. 自主防災組織の支援

- 自主防災組織の活動を支援するため、自主防災活動補助金を支出した。
 - ・自主防災活動補助金：287,257円（計7団体）

4. 防災訓練の実施

町職員の災害対応力を向上させ、関係機関との連携を強化するとともに、住民の自主防災活動を促進することにより、地域の防災力を高めることを目的として、総合防災訓練を実施した。

○主催：大山崎町防災会議

○日時：平成29年2月26日（日）

○場所（メイン会場）：大山崎町体育館、（避難場所）：ふるさとセンター、大山崎小学校、第二大山崎小学校、大山崎中学校

○想定状況：大規模地震及びそれに伴う火災発生

○参加機関：対象区域自治会・町内会・自主防災組織（住民参加約250名）、町、大山崎消防署、大山崎町消防団、向日町警察署、自衛隊、乙訓土木事務所、関西電力、大阪ガス、NTT西日本、都タクシー、東豊観光バス、町内事業所、大山崎町災害ボランティアセンター、防災備蓄事業者

○内容：災害対策本部の運営訓練、地域住民の避難行動訓練、避難者移送訓練、被害状況報告訓練、防災講演会、防災フェア（災害救助訓練等、災害対応車両展示、災害関連展示及びPR、炊き出し、防災グッズ展示、ボランティアセンター関連展示及びPR、起震車の運用、マンホールトイレ・発電機などの展示）

5. 情報通信手段の確保

避難所における多様な情報通信手段を確保するため、大山崎ふるさとセンター及び第二大山崎小学校に「OYAMAZAKI FreeWiFi」を整備した。

6. 防災資機材等の整備

備蓄用の飲料水、食料及び非常用毛布を調達、避難所に配備した。

7. 防災啓発の実施

○出前講座：防災に関する出前講座を計5回実施し、延べ210名の方が受講した。

○広報：4月号から12回にわたり「広報おおやまざき」に防災記事を掲載し、住民の防災意識の高揚を図った。

